

November 10, 2020

**【前日の為替概況】ドル円 大幅反発、米長期金利が急騰**

9日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3営業日ぶりに大幅反発。終値は105.38円と前営業日NY終値(103.35円)と比べて2円03銭程度のドル高水準だった。米大統領選で民主党候補のバイデン前副大統領の勝利が確実となり、米政治の不透明感が後退すると、投資家のリスク志向が高まり円売り・ドル買いが優勢になった。米製薬大手ファイザーが独バイオ医薬ベンチャーのピオンテックと共同開発中だったワクチンについて、「臨床試験で90%以上に感染予防の効果があった」と発表すると、市場では「新型コロナウイルス感染を制御できる可能性が高まった」との受け止めが広がり、世界の株価指数が急騰。ドル円にも買いが集まった。米10年物国債利回りが0.9730%前後と3月20日以来の高水準を付けたことも相場の支援材料となり、一時105.65円と10月20日以来の高値まで上値を伸ばした。その後の下押しも105.29円付近にとどまった。

ユーロドルは5日ぶりに反落。終値は1.1813ドルと前営業日NY終値(1.1874ドル)と比べて0.0061ドル程度のユーロ安水準だった。新型コロナウイルスワクチン開発の進展や米大統領選でのバイデン氏勝利を好感し、欧州株や時間外のダウ先物が急伸するとリスク・オンのドル売りが優勢に。23時30分前に一時1.1920ドルと日通し高値を付けた。ただ、米長期金利が急騰すると一転ドルを買い戻す動きが優勢となり、1時過ぎに1.1795ドルと日通し安値を更新した。

ユーロ円は続伸。終値は124.47円と前営業日NY終値(122.71円)と比べて1円76銭程度のユーロ高水準。世界的な株価の上昇とともにリスク・オンの円売りが優勢となり、一時125.13円と9月15日以来約2カ月ぶりの高値を付けた。なお、ダウ平均は一時1600ドル超上昇し取引時間中の史上最高値を更新ほか、ナイト・セッションの日経平均先物は1040円高の2万5900円まで上げた。

**【本日の東京為替見通し】コロナ後のリスク許容度の転換になるかに注目**

本日のドル円は神経質な値動きになりそうだ。昨日のドル円の踏み上げ方は多くの市場関係者の予想の範疇を超えて非常に大きくなった。今回の値動きを見ていると、ここ数カ月続いた株高がリスクオンのドル売り(反対に株安がリスクオフのドル買い)から変わる可能性もありそうだ。元々、新型コロナウイルスの蔓延で米資金のリパトリエーション(本国への資金送還)が起きる前までは、リスクオンがドル売りになっていたわけではなく、今後は再び市場がどちらを選考するかを見極める必要があると見られる。

昨日の株上げの一因でもあった米大統領選の確定は、トランプ現大統領がいまだに敗北を認めていないことで、今しばらくは混乱が続く可能性はある。マコーネル上院院内総務(共和党)は大統領が選挙を調べる権利はあるとは認めているが、他の複数有力共和党議員は迅速な政権移行を望んでいる。バイデン氏にとっては、トランプ氏の動向を気に留めることもなく粛々と新政権の閣僚の選考を行うことになるが、これからの数週間の間で新政権のメンバーが決定される可能性があることで、市場は目を離せないだろう。特に新財務長官の指名が最大の注目となる。

そして、もう一つの株高の要因となった、ファイザーのワクチン開発の進展だが、現時点で欧米だけでなく日本などでも感染第2波が進行していることで、ワクチンの開発のスピードも注目されそうだ。なお、ワクチン開発に対して米国の新型コロナウイルス対策チームの長を務めていたペンス米副大統領が、大統領と自らのチームの貢献を称えるツイートを記載したが、即座にファイザーは一切政府等からの援助金を受け取っていないと否定されるという皮肉な結果になっている。

ドル円以外の通貨では本日もポンドの値動きには要警戒となりそうだ。この数週間以内に英欧州連合(EU)間の通商交渉の結果が出ると思われるが、昨日はバイデン政権発足が現実味を帯びたことで、英国がEUとの通商交渉を妥協するという見通しが増してきている。ユーロポンドは欧州入り後からユーロ買い・ポンド売りになっていることもあり、今後の交渉の進展とポンドの値動きも注目される。

なお、本日アジア時間での経済指標は、本邦から9月国際収支速報や10月景気ウォッチャー調査が発表される。また中国から10月の消費者物価指数(CPI)と生産者物価指数(PPI)などが発表される。本邦の経済指標では市場が動意づくことはないだろうが、中国の指標には要警戒となりそうだ。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

10 日のイベントスケジュール（時間は日本時間）

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◎ 9 月国際収支速報
  - ◇ 経常収支（予想：季節調整前 1 兆 9949 億円の黒字／季節調整済 1 兆 7937 億円の黒字）
  - ◎ 貿易収支（予想：8027 億円の黒字）
- 14:00 ◇ 10 月景気ウオッチャー調査（予想：現状判断指数 50.5／先行き判断指数 49.8）

## &lt;海外&gt;

- 07:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
- 09:01 ◇ 10 月英小売連合（BRC）小売売上高調査
- 09:30 ◇ 10 月豪 NAB 企業景況感指数
- 10:30 ◎ 10 月中国消費者物価指数（CPI、予想：前年比 0.8%）
- 10:30 ◎ 10 月中国生産者物価指数（PPI、予想：前年比▲2.0%）
- 16:00 ◎ 10 月英雇用統計（予想：失業保険申請件数推移 5 万件／失業率なし）
- 16:00 ◎ 7-9 月英失業率（ILO 方式、予想：4.8%）
- 16:00 ◎ 10 月ノルウェー消費者物価指数（CPI、予想：前月比 0.3%／前年比 1.6%）
- 16:00 ◇ 8 月トルコ失業率
- 16:45 ◇ 9 月仏鉱工業生産指数（予想：前月比 0.7%）
- 19:00 ◎ 11 月独 ZEW 景況感指数（予想：41.7）
- 19:00 ◎ 11 月ユーロ圏 ZEW 景況感指数
- 23:00 ◎ クノット・オランダ中銀総裁、講演
- 24:00 ◎ ローゼングレン米ボストン連銀総裁、講演
- 11 日 02:30 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、あいさつ
- 11 日 03:00 ◎ 米財務省、10 年債入札
- 11 日 04:00 ◎ クオールズ米連邦準備理事会（FRB）副議長、米上院銀行委員会で証言

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

9日 12:19 ロバートソン・ニュージーランド(NZ)財務相  
「中小企業支援策を3年延長」

9日 13:10 財務省幹部  
「為替の安定は重要であり、緊張感を持って動向を注視している」  
「為替の水準についてはコメントしない」

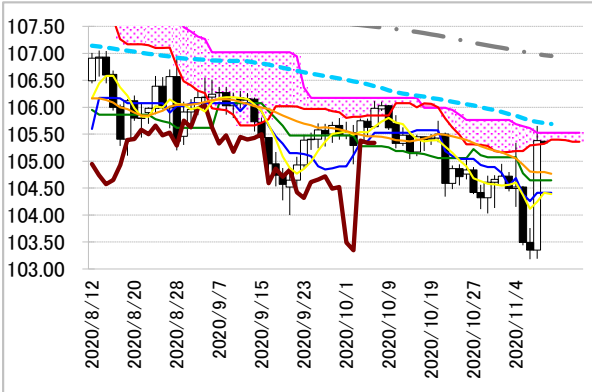
9日 20:25 バルニエ欧州連合(EU)離脱首席交渉官  
「英EU交渉のカギを握るのは3つ」  
「一つ目はEUの自治と英国の主権を尊重し、国際的なパートナー間で効果的なガバナンスと執行メカニズムを持つこと」  
「二つ目は共有された高い基準に基づく自由で公正な貿易・競争の強固な保証、時間をかけて首尾一貫して進化すること」  
「両当事者の利益となる市場と漁業機会への安定的かつ相互的なアクセス」

9日 23:41 米国立アレルギー感染症研究所のファウチ所長  
「ファイザーのコロナワクチン候補の有効性は並外れている」  
「モデルナもファイザーと類似の結果を出す可能性」

10日 02:12 スナク英財務相  
「ブレグジット交渉で大きな進歩を遂げた。合意は可能」

※時間は日本時間

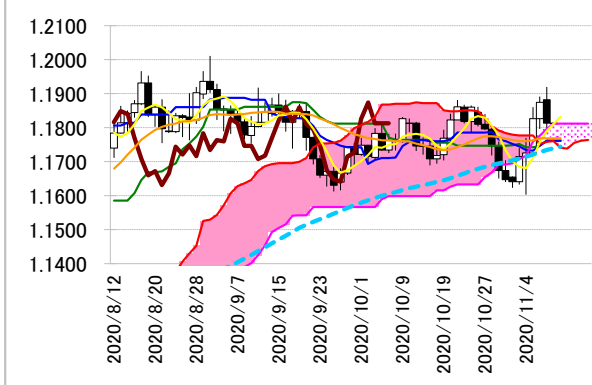
## 〔日足一目均衡表分析〕



### <ドル円=一目・基準線や転換線が支持に>

太陽線引け。103 円前半で支えられ、105 円台まで大きく反発し、3 営業日ぶりの陽線引けとなった。一時 105 円半ばの日足一目均衡表・雲の上限を上回る場面もあった。本日は 105 円台前半から半ばに位置する狭い一目・雲を睨みながら、昨日に頭を抑えられた 90 日線を意識しながらの取引となりそうだ。大幅上昇後の調整を注意しながらも、104 円台の一目・基準線や転換線を支持に買い姿勢で臨みたい。

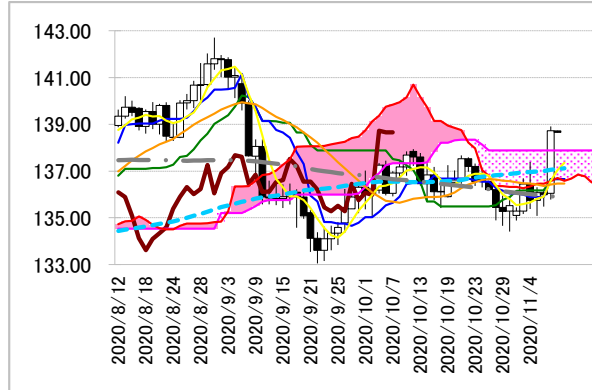
レジスタンス 1	105.71(90 日移動平均線)
前日終値	103.38
サポート 1	104.65(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	104.42(日足一目均衡表・転換線)



### <ユーロドル=1.17ドル台で並ぶ基準線・転換線がポイントに>

陰線引け。1.19 ドル前半の 9 月 2 日高値手前で上値を抑えられ、一時 1.18 ドル割れまで下落。引け水準は何とか日足一目均衡表・雲の上を維持したが、5 営業日ぶりの陰線引けとなった。同・遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・基準線と転換線は同値であり、次の方向性を探る展開。雲の中に突入し、1.17 ドル台の基準線・転換線を割り込むようであれば、下値余地が広がりそうだ。

レジスタンス 1	1.1920(11/9 高値)
前日終値	1.1813
サポート 1	1.1762(日足一目均衡表・基準線と転換線)

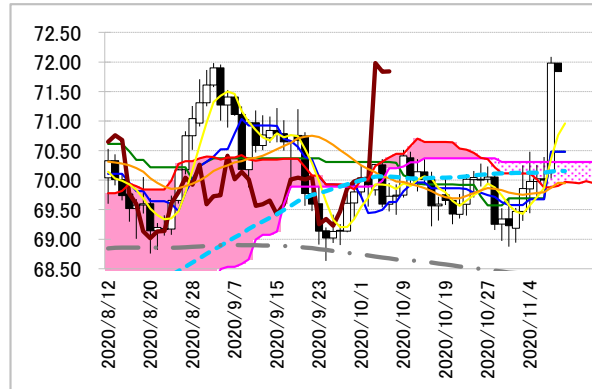


### <ポンド円=90 日線を支持に押し目買いスタンス>

太陽線引け。138 円後半まで上昇し、約 2 カ月ぶりの高値を更新した。日足一目・基準線と転換線は同値であるが、同・遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けたことで買いシグナルが優勢な展開。大幅上昇後の下向き調整はあるだろうが、137 円後半に位置する雲の上限は支持水準として機能しそう。

本日は押し目買いスタンスで臨み、137 円前半の 90 日線を割り込むようなら一旦手仕舞い。

レジスタンス 1	140.03(9/8 高値)
前日終値	138.73
サポート 1	137.10(90 日移動平均線)



### <NZドル円=38.2%押しを支持に押し目買いスタンス>

太陽線引け。日足一目均衡表・雲の上限を突き抜け、一時 1 月以来の 72 円台乗せを達成した。急騰の反動で売りもでるだろうが、71 円台での買い場探しとなるか。71 円前半に位置する昨日レンジの 38.2%押しや半値押しを支持に押し目買いスタンスで臨みたい。61.8%押し (70.82 円付近) を割り込むようなら一旦手仕舞い。

レジスタンス 1	72.67(1/24 高値)
前日終値	71.98
サポート 1	71.30(11/9 レンジの 38.2%押し)

